

# 2023年3月期

---

## 第1 四半期決算補足資料

2022年8月

株式会社多摩川ホールディングス

## ■業績ハイライト

- ・通期に対する進捗は、計画どおり進捗中  
電子・通信用機器事業は、受注残高が前年同期比17.3%増と好調  
再生可能エネルギー事業は、当期の小型風力発電所の通期開発計画に対し、進捗率は23.3%と堅調
- ・前期比較  
売上高は再生可能エネルギー事業において前期は大型太陽光発電所を売却した特殊要因があったほか、当期通期計画のとおり外部環境の影響を受けており、前年同期比76.3%減、営業損失224百万円（前年同期は営業利益183百万円）

## ■電子・通信用機器事業

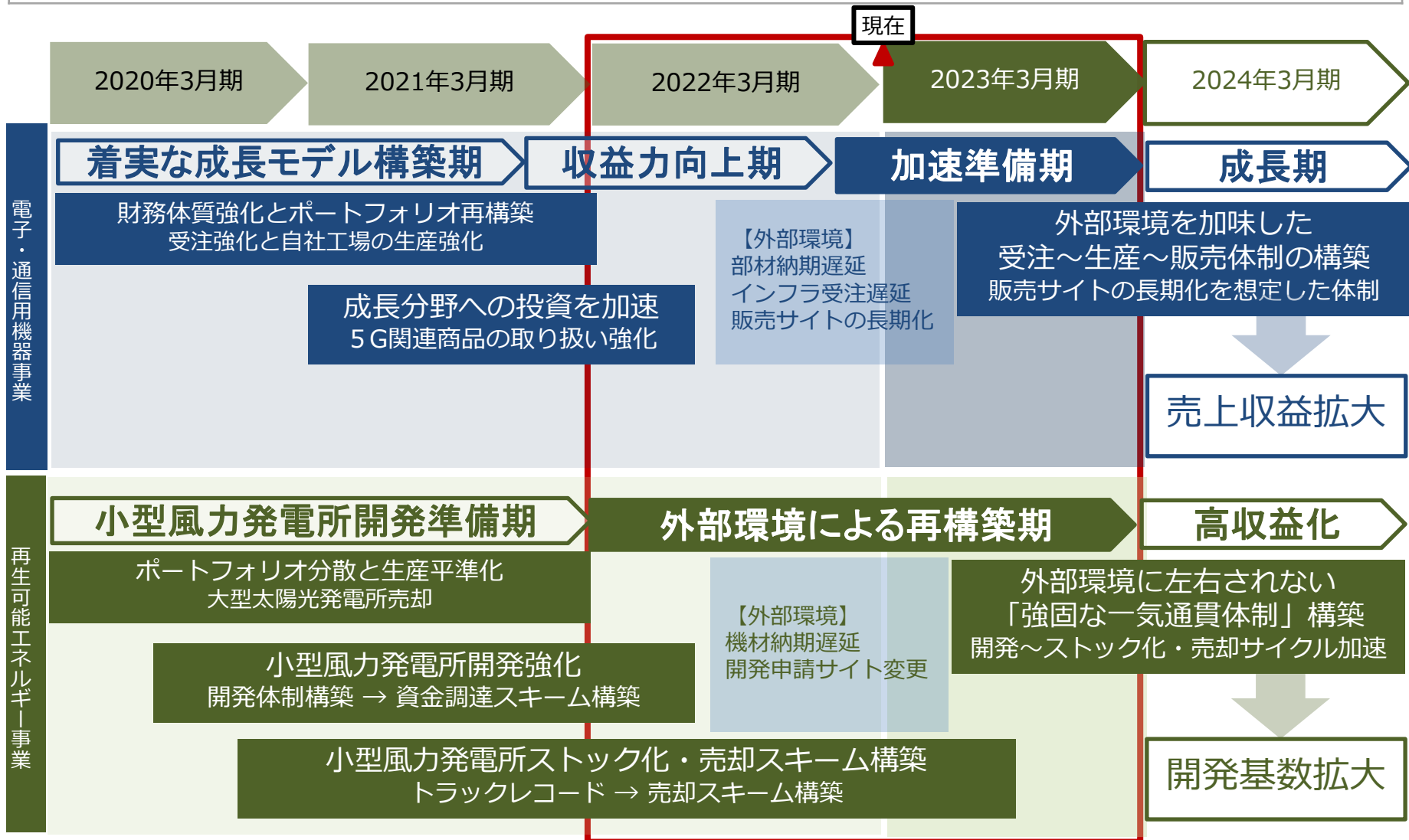
- ・世界的な部品材料入手難の影響により減収減益となったが、受注は好調
- ・第1四半期時点の受注残は、2,212百万円（前年同期比1,886百万円）で好調
- ・今後も既存市場での販売拡大活動を継続して推進

## ■再生可能エネルギー事業

- ・前年同期と比較し大型太陽光発電所の売却がなかったため減収となるものの、保有している北海道の小型風力発電所や低圧太陽光発電所は順調に売電
- ・強化領域の「小型風力発電所」の開発を加速中
- ・今期小型風力発電所を60基開発予定で、2022年7月時点で合計14基が連系済み。（進捗率23.3%）
- ・着実に小型風力発電所の開発を積み上げてきたことにより金融機関との引き合いが増加

# これまでの取り組みと今後の展開

事業モデルの構築が着実に進む中、当期は外部環境による影響を受けるものの来期に向けた体制を構築し、2024年3月期以降の成長スピードを加速する



# 事業戦略と主なトピックス

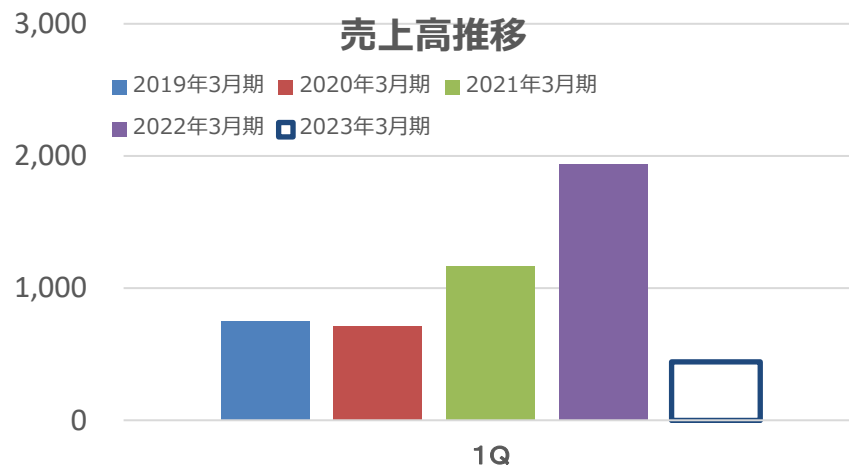
事業	内容
グループ全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業戦略の加速させるための取り組みを執行中 資金調達の実行、戦略的パートナーとの連携 新領域への取り組み強化（技術、商品力の強化）</li> <li>■ 2022年5月19日 小型原子時計を用いた次世代高周波発振器の開発成功に関するお知らせ</li> </ul>
電子・通信用機器事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官公庁・公共インフラ関連市場、5Gを含む移動体通信インフラ市場での拡販。</li> <li>・ 戦略的パートナーとの提携による新たな事業領域の開拓。</li> </ul>
官公庁・公共インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土強靱化計画に基づいた公共インフラの高度化に向けた置き換え需要に対して、ワンストップ提案により、大規模システムの受注を目指す。</li> </ul>
移動体通信インフラ（5G含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業年度下期より、5Gマクロセル用製品の出荷が本格化。今後はローカル5G向け製品開発のために提携企業とのコラボを推進して行く。</li> </ul>
再生可能エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小型風力発電所の開発を推進中</li> <li>・ 開発の加速に向けた資金調達を実施</li> <li>・ 開発に向けた戦略的パートナーとの提携を実現、新たな事業モデルを推進中</li> <li>・ 社会の要請も鑑み、売電のウエイトを高める取り組みへシフト</li> </ul>
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小型風力発電所の開発・販売強化</li> <li>・ 低圧を中心に太陽光発電所の開発を継続</li> <li>・ 小型風力発電所は開発推進し、発電開始・ストック化。</li> <li>・ 大型風力発電所（北海道根室市）2023年12月連系に向けたプロジェクト進行中</li> <li>■ 2022年4月1日 子会社による小型風力発電所の完工に関するお知らせ（北海道根室市）</li> <li>■ 2022年4月7日 子会社による小型風力発電所の連系に関するお知らせ（北海道檜川・砂川）</li> <li>■ 2022年4月20日 子会社による小型風力発電所の完工に関するお知らせ（北海道檜川・砂川）</li> <li>■ 2022年4月28日 子会社による小型風力発電所の連系に関するお知らせ（北海道檜川・砂川）</li> <li>■ 2022年5月31日 協調融資による小型風力発電所の開発に関するお知らせ（秋田県男鹿市）</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドネシアにおける小水力発電所の施工継続</li> </ul>

# 損益計算書 概要

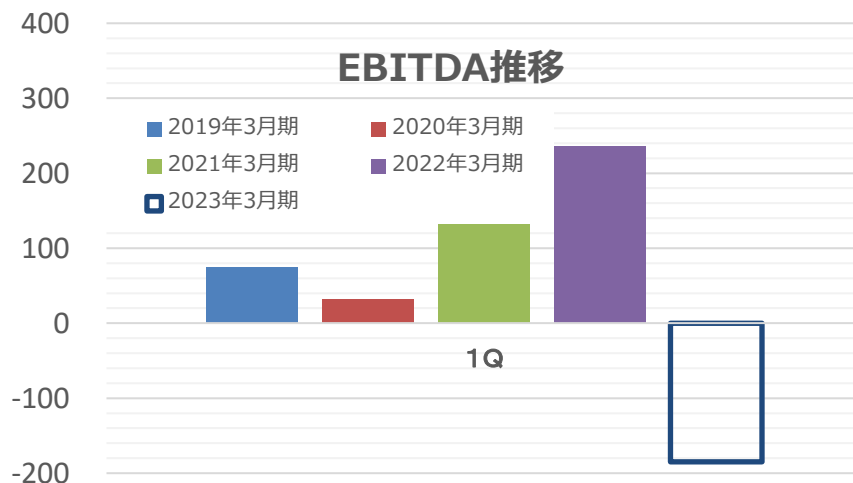
- ・売上高は前年同期比76.3%減、営業利益は前年同期比122.4%減
- ・電子通信機器事業は、世界的な部品材料入手難の影響により減収減益だが、受注は好調
- ・再生可能エネルギー事業は、第1四半期の時点で小型風力発電所の売却がなかったため減収減益

単位：百万円 累計数値	2023/3 1Q実績	前年同期	
		実績	増減
<b>売上高</b>	<b>460</b>	<b>1,940</b>	△1,480
電子・通信用機器	410	817	△407
再生可能エネルギー	49	1,122	△1,073
<b>EBITDA ※1</b>	<b>△185</b>	<b>236</b>	△421
EBITDAマージン	△48.6%	12.1%	△36.5
売上総利益	102	502	△400
販売管理費	326	318	+8
営業損益	△224	183 (9.4%)	△407
経常損益	△195	169 (8.7%)	△364
四半期純損益	△164	132 (6.8%)	△296

(単位：百万円)



(単位：百万円)

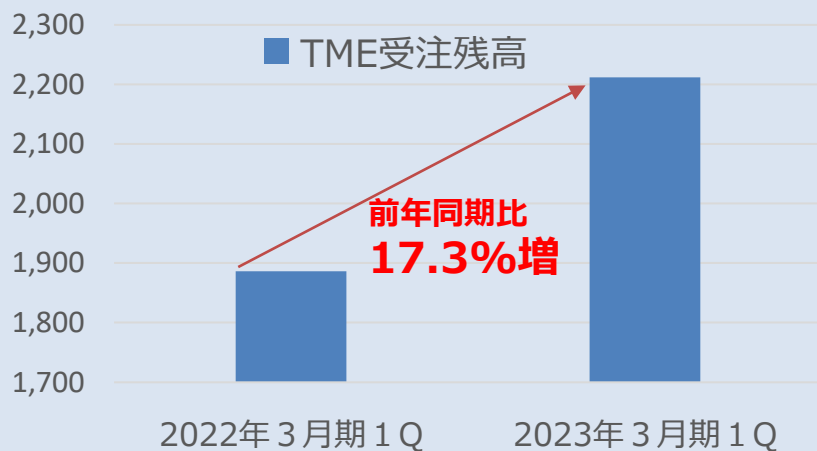


# 各セグメントの取り組みと今後の展開

各セグメントにおける事業モデルの構築が着実に進む中、当期は外部環境による影響を受けるものの、部材・機材調達への対策を実行すること等により、当初予定通り進行中。

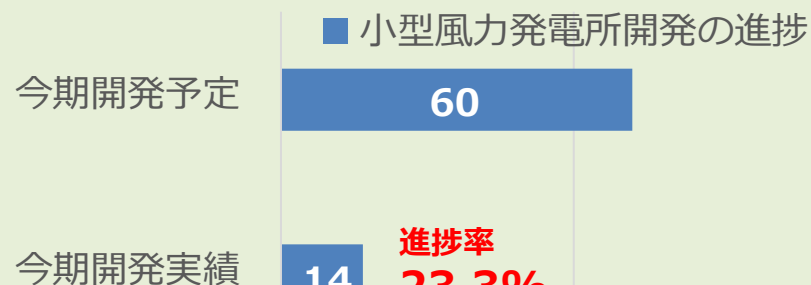
## 電子・通信用機器事業

(単位：百万円)



【外部環境要因】  
部材納期遅延  
インフラ受注遅延  
販売サイトの長期化

## 再生可能エネルギー事業



(単位：基)

0 50 100

※2022年7月時点の連系実績

【外部環境要因】  
機材納期遅延  
開発申請サイト変更

## 貸借対照表 概要

2021年3月期以降、大型太陽光発電所を売却すること等により、財務体質の改善を推進し、小型風力発電所の開発等の成長戦略を加速させるための体制強化を実現

単位：百万円	2022/6末	2022/3末	増減
流動資産	6,577	6,810	△233
現金及び預金	1,726	2,060	△334
受取手形、売掛金 及び契約資産	1,351	2,205	△854
商品及び製品	1,132	781	+351
固定資産	1,561	1,517	+44
有形固定資産	843	832	+11
無形固定資産	64	62	+2
投資 その他の資産	652	621	+31
資産合計	8,166	8,359	△193

単位：百万円	2022/6末	2022/3末	増減
流動負債	1,328	1,778	△450
支払手形 及び買掛金	579	700	△121
1年内返済予定の 長期借入金	220	267	△47
リース債務	4	4	0
その他	55	150	△95
固定負債	1,558	1,130	△428
長期借入金	1,017	584	+433
リース債務	12	14	△2
純資産合計	5,286	5,442	△156

## 2023年3月期 通期業績予想・進捗率

- ・当期は外部環境の影響を受ける可能性が高く、レンジでの業績開示
- ・通期計画達成に向け、事業戦略を推進中

単位：百万円	<A> 2023/3	<B> 2022/3	前期比	2023/3
	通期計画	通期実績	増減額 (A-B)	1Q実績
売上高	5,019~5,813	6,236	△1,217~△423	460
営業利益	65~166	379	△314~△213	△224
経常利益	3~104	331	△328~△227	△195
当期純利益	2~73	148	△146~△75	△164



本資料は株式会社多摩川ホールディングスの2023年3月期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

株式会社多摩川ホールディングス 経営企画部

Tel 03-6435-6933

E-Mail [ir@tmex.co.jp](mailto:ir@tmex.co.jp)

HP <https://www.tmex.co.jp>